

大会開催の経緯

History of Competition

2000 Formula SAE® に初挑戦

1997年4月、自動車技術会関東支部の学生自動車研究会のなかに「Challenge! Formula SAE。」プロジェクトが発足し、基本設計、空力特性などを検討した。1998年4月、5大学1高専の合同チーム「Challenge! NIPPON」チームが発足し、エンジンは国土館大学、ワイヤハーネスは上智大学、メインフレームは東京都立航空工業高等専門学校、カウルは日本大学、サスペンション、ステアリング、組み立ては神奈川工科大学が担当した。

Formula SAE。は、排気量610cc以下の4サイクルエンジンの使用が義務づけられている。「Challenge! NIPPON」チームは、軽自動車の660ccエンジンをストロークダウンにより規定の610cc以下にして臨んだ。排気量608cc、車両質量360kg、FRP製フルカウルの車両で、2000年5月のFormula SAE。にアジアから初参戦した。総合成績は、参加104チーム中28位で、初参加の優秀チームに贈られる新人賞を受賞した。

以降、2001年は、国土館大学・上智大学・日本大学の合同チーム、神奈川工科大学の単独チームが参戦した。2000 Formula SAE。プロジェクトでは活動方針、進行管理などについては担当の先生に委ねがちであったが、2001 Formula SAE。ではマネジメント、進行管理、広報活動についても学生自身が自ら行った。参加125チーム中合同チーム91位、神奈川工科大チーム92位。

2002年からは単独校として毎年数チームが参戦している。

日本大会に向けてのトライアルイベント開催

トライアルイベントは、本大会開催に向けた大会運営リハーサルと位置づけ、2001年9月23、24日にツインリンクもてぎで開催した。参加車両は、2000 Formula SAE 参戦の合同チーム車両J-001、2001 Formula SAE 参戦の合同チーム車両J-002と神奈川工科大学チーム車両K-001の3台。Formula SAE。で行われている車検、静的評価、動的評価を一通り行った。このトライアルイベントにより大会運営ノウハウを得、2003年の本大会開催に向けて本格的な準備を進めることになった。

第1回 全日本 学生フォーミュラ大会

第1回全日本学生フォーミュラ大会は、富士スピードウェイで、2003年9月10日(水)～12日(金)に開催された。当初の予想を上回る国内17チーム(大学16チーム、高専1チーム)が参加し、約1100名が参加する盛大な大会となった。カーメーカー、部品メーカー、大学教員および学生など160名にのぼるスタッフの協力を得て、概数ではあるがチームメンバー300名、プレス関係者100名、見学者550名が参加、観戦した。

一日目は、車検、プレゼンテーション、設計審査、コスト審査を行った。二日目は、朝からアクセルレーション、スキッドパッドを行い、その後オートクロスとエンデュランスを行った。三日目は、エンデュランス、設計最終審査を行い全競技を無事に終えた。

総合成績は、SAE大会を経験している上智大学、国土館大学に続き、SAE大会を経験していない東京大学がベスト3に入った。

第1回～第5回大会実績

	優勝	2位	3位	開催地	参加チーム数
第1回大会 2003/9/10-12	上智大学	国土館大学	東京大学	富士スピードウェイ	17
第2回大会 2004/8/30-9/2	University of Texas at Arlington	神奈川工科大学	国土館大学	ツインリンクもてぎ	28 (うち海外3)
第3回大会 2005/9/6-9	金沢大学	神奈川工科大学	国土館大学	富士スピードウェイ	41 (うち海外1)
第4回大会 2006/9/13-16	上智大学	名古屋大学	University of Michigan - Ann Arbor	エコパ	50 (うち海外4)
第5回大会 2007/9/12-15	上智大学	国土館大学	金沢大学	エコパ	59 (うち海外4)



2000年合同チームの車両



2001年トライアルイベント



2004年第2回大会優勝 UTAチームの車両



2005年第3回大会優勝 金沢大学チームの車両



2006年第4回大会優勝 上智大学チームの車両